令和4年3月作成

新日本学院

令和3年度　自己点検・自己評価報告書

1.教育理念・目的・育成人材像

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【1-1】教育理念、目的、育成人材像		評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	A
1-1-2	社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	A

≪現状・課題・改善案≫
今年度は理念を広げる取り組みとして、中間層を育てる目標を掲げ経営会議のメンバーの拡大、内容の充実に取り組んだ。理念は、ホームページや新人研修などで周知されているが、学生には浸透していない。教職員に対しては、経営ビジョン発表会を毎年行い、来年度の方針や将来のビジョン等を全体に周知している。それも理念によるものだが、教職員一人一人が理念を意識して動いているわけではない。漠然とではなく、具現化してそれぞれに結びつける必要がある。また、理念の浸透度の確認は行われていないことと、変化が多い昨今、状況に合わせて方針を決めるため、教職員に対しての経営ビジョン発表会を来年度から、年2回開催することにする。

2.学校運営

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【2-2】運営方針		評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	A

≪現状・課題・改善案≫
経営ビジョン発表会で、運営方針・重点目標が発表され、個人目標シートにも反映されている。ただ、一方的な発信にならないよう、まずは中間層から学校運営に当事者意識を持ち、提案・発信ができるようにし、

経営企画室でそれをまとめていきたい。

点検中項目【2-3】事業計画		評価
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	B

≪現状・課題・改善案≫

グループ法人の医療人材国際交流協会で、事業計画を作成していおり、看護介護クラスはそれに付随しているところがある。新日本学院は、明確なものはないため、事業計画、業務分担を明確にし、個人についても長期的な視野を持って、自身のスキルアップも考えてもらえるような形にしていきたい。

点検中項目【2-4】運営組織		評価
2-4-1	学校運営のための組織を整備しているか	A

≪現状・課題・改善案≫

管理運営規程については、就業規則で整備されている。

学校運営についは、経営企画室、経営会議を中心に決定がなされ、その後全体に共有されている。組織で行われたミーティングや経営会議、委員会などの議事録も作成されている。予算編成については、執行ルールが明確に定められていない。新日本学院は、予算の編成をしにくいのが現状である。収入、支出、キャッシュフローなどの見える化という課題があったので、今年度、経営ビジョン発表会で教職員へ報告した。

点検中項目【2-5】人事・給与制度		評価
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	A

≪現状・課題・改善案≫

日本語教師の採用基準は、告示基準通りで運用されている。専任登用も毎年行われている。

ステージ制度が適応されていて、人事考課や昇給もこれに基づいて行われている。

新事業に対応した、就業規則の改定や在宅勤務、残業に関してもできるところから整備していく。

点検中項目【2-6】情報システム		評価
2-6-1	情報システムに取組み、業務の効率化を図っているか	B

≪現状・課題・改善案≫

学生に関する情報は、アクセスで管理し運用している。

適切なシステムのメンテナンス及び、セキュリティー管理は行っていない。ICTのセキュリティーに関しては、意識して取り組む必要がある。

3.教育活動

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【3-7】教育の特色		評価
3-7-1	特色ある教育活動に取り組んでいるか	A

≪現状・課題・改善案≫

看護、介護、高度人材、特定技能クラスについて、システムや奨学金等のスキームに特色がある。また、日本語学校としては、アルバイト先との連携やCanDOリストによる学生への評価等、それぞれの取り組みは評価できる。

課題としては、授業や教育に関して特色をもっと出せるようにしたい。「教育」「授業」という視点で、教職員一人一人が何が必要か、全体で新日本学院の「色」を考え、取り組む必要があると考える。

点検中項目【3-8】目標の設定		評価
3-8-1	コース毎に到達レベルを明確にしているか	A

≪現状・課題・改善案≫

コースごとに大目標、中目標を設定、それを共有し小目標をクラスごとに設定し共有されている。

どのコースも理念を意識して目標を設定しているわけではないが、大きなずれはなく理念に近い目標となっている。各学生の進路に必要な資格、免許の取得に関しては、学生に指導、説明を行っている。

点検中項目【3-9】 教育方法・評価等		評価
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A

≪現状・課題・改善案≫

ベースとなるカリキュラムはあるが、毎年、学生のレベル、ニーズが変化しているため、カリキュラムの見直し、修正が必要になっている。昨年度からオンライン授業が多くなり、見直しができていないところもある。特定技能の学生のニーズにも応えるため、今年度は実施をしながら修正する部分もあった。今後は、確立していく必要がある。

授業内容・方法は、各クラス担任が毎月予定表を作成し、クラス担当から学生に合わせた効果的な指導方法をアドバイスできる体制がある。

点検中項目【3-10】クラス運営		評価
3-10-1	学生に合ったレベルでクラス編成を行い、クラス運営を適切に行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫

入国前、授業開始前に日本語力をチェック。オンラインになってからは会話のレベルでクラス編成を行っている。レベルの設定はJLPTを参考にしている。理解度、到達度は、レベル修了テスト、JLPTの模試で確認。CanDOリストを作成し、会話力などを評価しているクラスもある。

学生情報については、どのコースも共有ドライブ、クラスミーティングなどで確認し、共有されている。

点検中項目【3-11】成績評価		評価
3-11-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
判定方法は、全クラス共通のレベル修了テストで実施。クラスによっては、CanDOチェック、会話テストも導入されている。判定結果は、学生に伝えられている。レベル修了テストの内容、相対評価は適切か等、見直しが必要だと考えている。

点検中項目【3-12】資格・免許の取得の指導体制		評価
3-12-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	A
3-12-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	A

≪現状・課題・改善案≫
就職希望の学生には、資格取得について、入国前より説明している。進学希望の学生には、JLPTの取得級、EJUの点数がそれぞれの進学先で使えるか進学ホームルームで説明している。
指導については、対策授業を実施している。特定技能希望者には、学習用テキストを配布し、自己学習をさせ、教師は学習サポートをしている。専門家の助言は受けていないが、今後どの程度サポートしていくか、それにより専門家の助言が必要か検討していく必要がある。

点検中項目【3-13】教員・教員組織		評価
3-13-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A
3-13-2	教員の資質向上への取組を行っているか	B
3-13-3	教員の組織体制を整備しているか	A
3-13-4	授業評価を実施しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
資格や要件については、求人情報やホームページなどに明記し、採用の時も確認している。
教員に求める必要な知識、能力及び資質の明示・確認はステージ制に基づく評価と管理職との面談に頼っているところも多く、教育目標達成と結びついているものかどうかは疑問もある。
個々のクラスでのミーティング等を通し、授業内容の改善を図っていたり、新人研修で教案チェック、授業内容について指導をしている。しかし、組織的に特に中堅の教員についての資質向上のための研修はない。
年に1回の授業見学を実施、実施前に評価項目の公開、授業見学後フィードバックを行っているが、評価を主な目的としている。評価とは別に、教員の個々の教育能力の向上を目的とし、見学の回数を増やしたり、前年との比較ができるようにていきたい。授業について、学生指導について、リーダー研修等検討して必要がある。

4.教育成果

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【4-14】成績・試験結果		評価
4-14-1	成績、試験結果の管理をし把握しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
学生全体の成績記録は、アクセスに入力し保管している。
日本語能力試験、留学試験の結果は、スキャンをし保存している。

点検中項目【4 - 15】就職支援		評価
4-15-1	就職目的の学生の支援ができてるか	A

≪現状・課題・改善案≫
グループ法人と連携し、セミナーの実施、求人の紹介、就職活動に必要な履歴書、面接指導を行っている。
授業では、社会人教育、マナー教育を取り入れ日本社会で即戦力として働ける人材を育成している。

点検中項目【4-16】卒業生の社会的評価		評価
4-16-1	卒業生の進路、社会的評価を把握しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
卒業後の進路については、把握している。介護福祉士養成校へ進学した学生については、専門学校での学習状況を把握し、就職状況も確認している。その他、グループ法人の紹介で就職した学生に対しては、卒業生の就職先へ在校生の見学や面接に教職員が同行する機会があり、卒業生や就職先へヒアリングできている。

5.学生支援

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【5-17】進学・就職指導		評価
5-17-1	進路に関する支援組織体制を整備しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
進学、就職など進路支援のための体制は整っており、教務と事務の連携ができつつある。進学に関する資料は、閲覧可能にし、就職に関する情報は、募集要項等、学生に周知している。

点検中項目【5-18】中途退学への対応		評価
5-18-1	退学率の低減が図られているか	A

≪現状・課題・改善案≫
退学の理由、退学者数は把握している。教務・事務が連携で退学希望者に対し、理由の聞き取り、指導、意思確認、保護者の承諾確認後、適切に対応している。出席率不良等学生への対応等指導経過記録は、全体で

共有まではできていない。うつ病等事前把握し、入学選抜の段階で未然に退学率低減防止に努めたい。

点検中項目【5-19】学生相談		評価
5-19-1	学生に対する相談体制を整備しているか	A

≪現状・課題・改善案≫

学生からの相談は随時受け付けている。生活指導は入学直後オリエンテーションで日本のマナーやルール等を周知し、問題が起きた場合は都度指導している。

アルバイトオーバーワークについては、説明会や課税証明書の提出などで防止に努めているが、ゼロにはならないため、根気強く指導する必要がある。

点検中項目【5-20】学生生活		評価
5-20-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A
5-20-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	B
5-20-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	B

≪現状・課題・改善案≫

学校独自の奨学金がある。学費の減免、分割納付制度は、整備されているところもあるが、個別に都度稟議にかけ、決裁により実行することが多い。

アルバイトについては、指導及び支援を行っている。

重篤な疾病、感染症発生時の措置、交通事故等の対応は、都度行っており組織的に体制は整備されていない。

定期健康診断は結核検診のみ実施、記録保存している。

寮を整備し、利用人員、充足状況は、把握はしているが、管理体制は十分に機能できていない。学生からの要望の対応がもっと素早くできるように努めたい。

6.教育環境

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【6-21】施設・設備等		評価
6-21-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	B

≪現状・課題・改善案≫

各教室、授業に必要なレベルの照度、換気、遮音性は確保されている。図書室、休憩スペースは設けられていて、時間外でも自習できる自習室がある。

プロジェクター、タブレットPC、オンライン授業に必要なアプリが整備されている。

図書やメディアは学生数に対応できるほどのものがなく、今後整備が必要。バリアフリー化について、物件

所有者と協議して可能な限りで整備を進めている。

点検中項目【6-22】防災・安全管理		評価
6-22-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	B
6-22-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	C

≪現状・課題・改善案≫

防災に関しては、地域防災委員会があり、教職員、学生に防災研修、教育、避難訓練を行っている。全体的に見ると、委員会ではカバーできないところがあり、体制が不十分なところがある。
今後、消防計画の作成、学校安全計画の策定、防犯体制、事故対応マニュアルの作成、危機管理全般の対応を整備する必要がある。

7.学生募集

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【7-23】入学者の募集と選考		評価
7-23-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A

≪現状・課題・改善案≫

理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定しているが、コロナ禍で計画より3分の１しか募集できていない。2021年度は入国状況が不透明で、入学意思が不安定、辞退者も多かった。
奨学金制度や学費減免のキャンペーン等を材料に学生募集をしていきたい。奨学金にかんしては、エージェントに制度がうまく伝わっていないケースも見られ、在留資格申請前の面接後、辞退も見られた。内容について理解できた学生に対し、面接会に出るように進める。

点検中項目【7-24】情報提供・相談		評価
7-24-1	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
7-24-2	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A
7-24-3	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A

≪現状・課題・改善案≫

入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。エージェント経由で情報提供をする場合、志願者本人に正確に伝わっているかが把握できていない部分もある。こちらの確認方法としては、志願者本人との面接の際に情報提供を再度行い、説明している。エージェントには、それぞれの言語に対応した募集要項を送っているが、常に最新情報を提供する必要がある。また、募集活動が適切に行われているか国によっては

把握できていない部分もあるので、志願者の負担等について本人やエージェントに確認する必要がある。

点検中項目【7-25】入学選考		評価
7-25-1	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-25-2	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
7-25-3	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A

≪現状・課題・改善案≫

入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。

提出された資料に基づいて把握している、提出された根拠資料すべてについて、確認は行わないが、資料を見て確認することもある。

入学志願者の学習能力、勉学意欲については確認を行い、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているが、日本語能力について国によっては不問となっているため、授業開始後、コース内で学習の遅れが生じる学生が毎学期出ている。入学までの間に日本語レベルの基準を設け、基準を満たす学生と満たさない学生で入学時、支払の猶予を受ける学費の金額に差をつけることとする。

点検中項目【7-26】学費		評価
7-26-1	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
7-26-2	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A

≪現状・課題・改善案≫

入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。

関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。但し、辞退等それぞれの状況により、都度個別対応することもある。

8.財務

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【8-27】財務基盤		評価
8-27-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A

8-27-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫
定員充足率については、把握し、学生募集担当とも共有している。収支のバランスは取れており、利益の見込みも立っているが、資金繰りは引き続き課題として注意していかなければならない。 3年間の財務分析について、問題ない。

点検中項目【8-28】予算・収支計画		評価
8-28-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	A
8-28-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫
予算が出しにくい状況にあるため、作成していない。ビジョンや経営方針を示すことに重きを置いてきたが、キャッシュフローや収支、支出について見える化する必要があるため、年度末の経営ビジョン発表会の時に教職員へ報告をした。
監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は適切に行われている。

9 .法令等の遵守

A：達成されている
B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる
C：達成に向け、努力している

点検中項目【9-29】関係法令、設置基準等の遵守		評価
9-29-1	法令や設置基準を遵守し、適切な学校運営を行っているか	B

≪現状・課題・改善案≫
学校運営は、「日本語教育機関の告示基準」に則した体制で行われている。学則、就業規則、給与規程等の主要な規程は整備され、適切に運用されている。コンプライアンスの意識を高めるための取り組み、法令遵守に関する研修・教育は、特に教職員に対してなされておらず、相談するための窓口も設置されていない。
次年度は、「コンプライアンス&社風醸成委員会」を設置し、意識の向上が図られる予定である。

点検中項目【9-30】個人情報保護		評価
9-30-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A

≪現状・課題・改善案≫
個人情報保護に関する取扱方針は、就業規則第60条（個人情報管理義務）に定め、適切に運用している。
個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関して、就業規則第54条（パソコン等の使用上の順守事項）第1項第2号に定め運用している。Webサイトの情報漏洩防止強化のため、2021年3月10日、新日本学院WebサイトのSSL化を完了した。

点検中項目【9-31】学校評価		評価
9-31-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	B
9-31-2	自己評価結果を公表しているか	A

≪現状・課題・改善案≫

実施に関し、学則や規定等は整備されていない。自己評価の取り組みは、昨年度は経営会議、今年度は全学で実施するように改善を行った。来年度は、「自己点検・自己評価委員会」が設置され実施にかかる組織体制の整備が図られる予定である。

評価結果を取りまとめ、報告書を作成、その後ホームページで公表している。今後は広報にも力をいれ、積極的な情報公開を図る予定。

点検中項目【9-32】教育情報の公開		評価
9-32-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫

ホームページにて公開を行っている。

「広報委員会」が設置され、より積極的な情報公開が図られる予定である。

10.社会貢献・地域交流

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【10-33】社会貢献・地域貢献		評価
10-33-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫

当校の留学生と近隣の高校生、住民の方との交流会を定期的に行っている。また、地域の日本人、外国人との交流を目的に年に1回、多文化共生フェスティバルを企画。市の多文化共生事業、多言語型AIチャットボットの実証実験にも協力した。今年度はコロナ禍で、開催を見送ったものも多いが、地域貢献は学校の経営方針として、我々ができることをやっていきたい。

点検中項目【10-34】ボランティア活動		評価
10-34-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A

≪現状・課題・改善案≫

今年度は、地域清掃委員会を立ち上げ、学校周辺の清掃を年間を通して行ってきた。対面授業が再開した時は、学生の参加も促し、学校全体で取り組んだ。結果は、全体に共有されている。今後も継続していけるような体制にしたい。